

## 新学部設置構想に関する県関係部局の意見

## 【産業労働観光部意見】

## ○新学部設置構想に対する所見

- ・ 社会経済情勢の変化や企業活動のグローバル化など、企業を取り巻く経営環境が大きく変わり続ける中で、経済・産業・企業の仕組みを深く理解し、情報データ分析力や確かな語学力を有する実践的な人材の確保は、各企業にとって重要な課題となっている。新潟県立大学において検討している新学部の設置により、こうした企業のニーズに対応した人材の輩出が期待される。

## ○新潟県立大学への要望

- ・ 学部新設時はもとより、設置後の運用に当たっても、県内をはじめとする企業の声聞く場を設けるなど、企業ニーズを十分に踏まえた特色あるカリキュラムにより、実践的な力を身につけるための教育の実現に努められたい。
- ・ また、同学部の卒業生については広く国内外で活躍することを期待するが、県内企業において人手不足感が強まっている状況も踏まえ、県内企業にも関心を持ってもらえるような仕掛けについても検討いただくとともに、起業・創業に向けた意識の醸成に取り組むなど、新潟の将来を担う人材の育成につなげていただきたい。

## 【福祉保健部意見】

### ○新学部設置構想に対する所見

- ・ 保育士については、女性の社会進出の増加等により子育て環境が大きく変化し、未満児保育や障害児保育など保育ニーズもより多様化しており、質の高い人材の確保が求められている。また、県内においては、例年、保育士不足を主要因に待機児童が発生している。
- ・ また、社会福祉士は、適切な福祉サービスを受けることができるように相談・支援を行うことが主な業務であることから、多様化・複雑化する福祉ニーズに対応していくために重要な役割を果たす存在であり、福祉の仕事を目指す若者の減少が懸念されている。
- ・ このような状況の中で定員を増やすことは、福祉人材の育成・確保につながるものと期待している。

### ○新潟県立大学への要望

- ・ 保育士や社会福祉士を目指す学生をひとりでも多く育成していただくとともに、本県の実情を踏まえた適切な保育・支援を行うことのできる福祉人材の育成に取り組んでいただきたい。あわせて、資格取得者が県内の保育所等での就職を希望し、就職に結びつくよう、保育団体等とのさらなる連携促進や、研修・実習等を通じ、大学研究機関としての機能をより一層発揮いただきたい。